

部局名

産業動物防疫リサーチセンター(CADIC)



取り組み

国際シンポジウムの開催

宮崎県では、2010年に発生した口蹄疫により、約7万頭の牛と約22万頭の豚が殺処分されるという未曾有の惨事に見舞われたことから、2011年に、日本で唯一の産業動物感染症を専門に扱う研究センターとしてCADICが開設されました。

CADICでは、アジアにおける産業動物感染症の研究拠点として最先端の研究を推進するとともに、国際協力機構(JICA)や県などと連携しながら人材育成を行い、日本のみならず海外からも多数の学生や研究者を継続的に受け入れています。

また、設立以来、年1回の国際シンポジウムを開催し、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ、アフリカ豚熱などの悪性産業動物伝染病に関する最新の知見や情勢などを提供しており、2024年度時点で14回開催しています。

これまでのシンポジウムテーマ一覧

2024年度：世界から学ぶ アフリカ豚熱対策

2023年度：食料安全保障と持続可能な畜産のために私たちは何をすべきか？

2022年度：アジアにおける獣医学教育研究ネットワーク

2021年度：重要家畜感染症の発生・流行要因と防疫対策

2020年度：口蹄疫終息から10年、見えないウイルスとの闘いそして未来へ

